



PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11) Publication number: **11312107 A**(43) Date of publication of application: **09.11.1999**(51) Int. Cl. **G06F 12/00****G06F 3/00, G06F 17/30**(21) Application number: **11056863**(22) Date of filing: **04.03.1999**(30) Priority: **19.03.1998 US 98 44655**(71) Applicant: **HEWLETT PACKARD CO <HP>**(72) Inventor: **KRAUSE MICHAEL D**(54) **DISPLAY WINDOW**

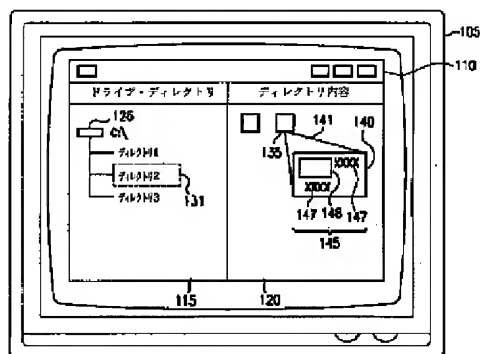
(57) Abstract:

PROBLEM TO BE SOLVED: To decide on the contents of a file, without relying on a file name and the operation start of an application by displaying meta-data for describing the file in a display window and arranging the display window for indicating the file.

SOLUTION: A software computer program generates a file contents preview window 140 on a computer monitor 105 and displays it. Moreover, the software computer program fetches meta-data 145 related to the file from the file contents pre-view window 140 and displays meta-data 145 constituted of text meta-data 147, graphic meta-data 148 and another type of meta-

data on the monitor window 110. Thus, the contents of the file is decided, without relying on the file name and the operation start of the application.

COPYRIGHT: (C)1999,JPO



(19)日本国特許庁 (J P)

(12) 公 開 特 許 公 報 (A)

(11)特許出願公開番号

特開平11-312107

(43)公開日 平成11年(1999)11月9日

(51)Int.Cl.⁶
G 0 6 F 12/00
3/00
17/30

識別記号
5 1 5
6 5 4

F I
G 0 6 F 12/00
3/00
15/40
5 1 5 A
6 5 4 A
3 8 0 D

審査請求 未請求 請求項の数1 OL (全 5 頁)

(21)出願番号 特願平11-56863

(22)出願日 平成11年(1999)3月4日

(31)優先権主張番号 0 4 4 6 5 5

(32)優先日 1998年3月19日

(33)優先権主張国 米国 (US)

(71)出願人 398038580

ヒューレット・パッカード・カンパニー

HEWLETT-PACKARD COM
PANY

アメリカ合衆国カリフォルニア州パロアル
ト ハノーバー・ストリート 3000

(72)発明者 マイケル・ディー・クラウド

アメリカ合衆国80538コロラド州ラブラン
ド、ウエスト45ストリート 1399

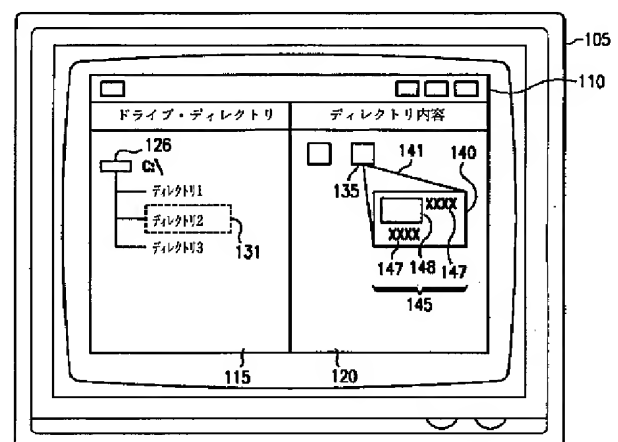
(74)代理人 弁理士 岡田 次生

(54)【発明の名称】 表示ウィンドウ

(57)【要約】

【課題】 ファイル名に依存したり、ファイルを読む
取ることができるアプリケーションを起動することな
く、ファイルの内容または用途を確かめる。

【解決手段】 調べようとするファイルをモニタ画面上で
選択すると、メタデータが該ファイルから自動的に取り
出され、または関連のファイルから取り出される。取り
出されたメタデータは、表示ウィンドウ内に表示され
る。メタデータは、テキスト・データでもよく、グラフ
ィック・データでもよい。



【特許請求の範囲】

【請求項1】 コンピュータ・モニタ上の表示ウィンドウであって、ファイルを記述するメタデータが該表示ウィンドウ内に表示され、該表示ウィンドウは該ファイルを示すよう配置されている、表示ウィンドウ。

【発明の詳細な説明】**【0001】**

【発明の属する技術分野】 この発明は、一般にコンピュータに関し、特に、コンピュータ・システム上に格納されたファイルに基づく情報の表示に関する。

【0002】

【従来の技術】 ファイルの用途または内容を確認することは、コンピュータ操作者にとって解決するのが難しい問題である。操作者は、従来、これを判断する2つの方法しかもたなかった。利用可能な最も簡単で最も迅速な手段は、ファイルに記述的な名前を割り当てることである。この技法は、操作者にいくつかの問題を呈示している。これらの問題の中には、あるシステム上で、ファイル名が3文字の拡張子をもつ8文字だけに制限されるという事実がある。他方で、より柔軟なシステムは、現在では255文字までを可能にしている。操作者がファイルを頻繁に使用しない場合、特にファイルを命名するのに利用できる文字数が少ないシステムで、ファイル名と、ファイルの内容または用途との間の関係を忘れやすい。しかし、利用可能な255文字を用いる場合でも、内容を判断することができる唯一の手段としてファイル名を信頼することは、ファイルが最初に如何に適切に命名されたかに左右される。命名が不適切に行われた場合、あるいは、ファイルの内容が変わる場合、操作者が取りうる唯一の手段は、ファイルの名前を変えることである。長いファイル名を記憶の補助として使用する他の欠点は、ファイル名を入力する際に努力を必要とし、信頼性に欠けるということである。

【0003】 コンピュータ操作者が利用できる別の選択は、操作者が使用したいまたは見たいと思うファイルの形式を解釈することができるアプリケーションを起動することである。この解決法は、時間および資源の両方を費やす。ファイルを見ることができるようになる前に、操作者は、アプリケーションがロードし、走るのを待たなければならない。操作者が間違ったアプリケーションを起動する可能性もある。そうすると、操作者は、その特定のファイルの内容を判断することができるようになる前に、そのアプリケーションを閉じて別のアプリケーションを起動しなければならない。もちろん、ファイル自体が実行可能であれば、ファイルが何を含むかを判断するためにそのファイルを実行することができる。

【0004】

【発明が解決しようとする課題】 従って、ファイル名に依存せず、かつ、ファイルを読み取ることができるアプリケーションを起動することに依存せずに、ファイルの

内容または用途を判断するための、迅速で、便利で、信頼できる技術が大いに必要とされている。

【0005】

【課題を解決するための手段】 好ましい実施例で、この発明は、操作者が、ファイルの内容を解釈またはファイルを実行するように設計されたアプリケーションを使用して、ファイルをあらかじめ開く必要なくファイルの内容または用途の省略された説明を見る能力を提供する。一例として、グラフィカル・ユーザ・インタフェース(GUI)を用いるシステムの場合、プレビュー・ウィンドウは、多様な手段によって、例えばファイル名またはアイコン上にマウスカーソルを置くことにより、特定のマウス・クリックまたはマウス・クリックの連続を実施することにより、コンテキスト・メニューを選択することにより、または他の手段によって呼び出すことができる。この明細書に記述される実施例は、従来に利用可能であったよりも迅速で、便利で、信頼できる、ファイルの内容または用途を判断する技法を提供する。

【0006】 この発明によれば、操作者は、暗号を使ったファイル名に関連する解釈を覚えたり、長く扱いにくいファイル名を使用しなくてよい。さらに操作者は、その目的のためにアプリケーション・プログラムを起動してファイルの内容を読み取る必要がなく、またはファイルが実行可能である場合、ファイル自体を実際に起動する必要がない。この発明の好ましい実施例に従って構成されるソフトウェア・プログラムは、ファイルの内容または用途を記述するメタデータを取得し、その情報をコンピュータ・モニタ上に表示し、必要なときにそのデータを除去する能力を含む。

【0007】 Microsoft Windows、Macintosh OSまたはX-WindowsのようなGUIの操作者は、上述したように、ファイル・アイコン上にマウスカーソルを置いたり、特定のマウス・クリックまたはマウス・クリックの連続を実施したり、コンテキスト・メニューを選択したり、または他の手段によって、ファイル内容プレビュー・ウィンドウを生成することを選ぶことができる。ファイル内容プレビュー・ウィンドウは、プレビューされるファイルのタイプ、および該ファイルに関して利用可能なメタデータ情報のタイプに合わせてカスタマイズすることができる。ファイル内容プレビュー・ウィンドウは、例えばファイル名をもつアイコンを表示する多くのグラフィック・オペレーティングシステムの中で、ファイルがグラフィック形式で操作者に提示される任意のシステムのアドオン(add-on)機能でありうる。

【0008】 ファイル内容プレビュー・ウィンドウは、それが呼び出されるとき、言及するオブジェクトの近くにおよび/またはそれに接するように現われ、そのオブジェクトに重なって表示される。メタデータは、テキストまたはグラフィックでありえる。操作者が、例えばjpg形式のファイルのようなグラフィック・ファイルをブ

レビューすることを選ぶ場合、内容プレビュー・ウィンドウは、ファイルに関連する画像のサムネイルおよび他のメタデータを表示することができる。

【0009】ここに記述される好ましい実施例で、ファイル内容プレビュー・ウィンドウは、アプリケーションを起動する必要なく、ファイルの内容をプレビューするための自動的かつほとんど瞬時の方法を提供する。この発明の他の形態および利点は、添付の図面に関連してこの発明を例示によって説明する以下の詳細な記述から明らかであろう。

【0010】

【発明の実施の形態】説明の目的で図面に示されるように、この発明は、ファイルの内容または用途に関する情報を迅速に簡単に表示するための方法に関する。以下の詳細な説明および図面の中で、同じ要素は、同じ参照数字によって示される。

【0011】図1は、ここでグラフィカル・ユーザ・インターフェース110とも呼ばれるコンピュータ・モニタ105上のモニタ・ウィンドウ110の概略図である。一例として、説明の目的で、モニタ・ウィンドウ110は、ドライブ・ディレクトリ・ウィンドウ115およびディレクトリ内容ウィンドウ120を含む。典型的なアプリケーションで、ドライブ・インジケータ126によって表されるドライブ125、あるいは、ディレクトリ・インジケータ131によって表されるドライブ125上のディレクトリ130が、ドライブ・ディレクトリ・ウィンドウ115内でマウスまたは矢印キーを使用することによって選択される。そのディレクトリ130の内容は、ディレクトリ内容ウィンドウ120内に表示される。

【0012】モニタ・ウィンドウ110上には、この中で表示ウィンドウ140と呼ばれるファイル内容プレビュー・ウィンドウ140が示され、操作者がファイルをあからさまに開く必要なくファイル134の内容の省略形を見る能力を与える。ファイル134は、ここで第1のファイル134とも呼ばれ、図示されないがファイル・アイコン135によって示される。これは、操作者が内容または用途をプレビューしようとするとき、ファイル134に関連するメタデータ145にアクセスすることによって、または実行中のファイル134に関するメタデータ145を生成することによって達成される。メタデータ145は、他の情報を記述する情報であり、好ましい実施例ではファイル134を記述する情報である。メタデータは、ファイル134から自動的に抽出されるか、あるいは手操作で入力することができる。メタデータが自動的に抽出され、そのファイル134がテキストである場合、ファイル134を走査して、あらかじめ選択された語、句または構成を含むか判断することができる。一方、ファイル134がグラフィック・ファイルである場合、例えばビデオ・ファイルに基づくサムネイルの概要、外観(faces)、カラー合成、フレーム等のメタデータ145の他のタイプを抽出すること

ができる。メタデータが手操作で入力される場合、手操作で生成された、第1のファイル134に関連する第2のファイル136(図示せず)が読み込んで、メタデータ145を抽出する。

【0013】Microsoft Windows、Macintosh OSまたはX-Windowsのようなグラフィカル・ユーザ・インターフェース110の操作者は、ファイル・アイコン135上にマウスカーソルを置くことにより、特定のマウス・クリックまたはマウス・クリックの連続を実施することにより、コンテキスト・メニューを選択することにより、またはその他の手段によって、ファイル内容プレビュー・ウィンドウ140を生成することを選ぶことができる。ファイル内容プレビュー・ウィンドウ140を呼び出す動作は、オペレーティングシステムによって異なる。ファイル内容プレビュー・ウィンドウ140は、プレビューされるファイル134のタイプに合わせて、およびファイル134に関するメタデータ145として利用可能な情報のタイプに合わせてカスタマイズすることができるファイル内容の全体図を提供する。ファイル内容プレビュー・ウィンドウ140は、コンピュータ・システムのアドオン機能でありうる。

【0014】ファイル内容プレビュー・ウィンドウ140は、それが呼び出されるとき、言及するオブジェクトの近くにおよび/またはそれに接するように現われ、そのオブジェクトに重なって表示されうる。好ましい実施例で、指示ジオメトリ141が、相互の関係に注意を引くためコンピュータ・モニタ105上のファイル内容プレビュー・ウィンドウ140とファイル・アイコン135の間に生成されている。図1で、指示ジオメトリ141は、ファイル内容プレビュー・ウィンドウ140およびファイル・アイコン135の両方に接触して示されている。しかし、他の実施例で、指示ジオメトリ141は、ファイル内容プレビュー・ウィンドウ140またはファイル・アイコン135に接触していなくてもよく、ファイル内容プレビュー・ウィンドウ140の一部であってもよく、またはそうでなくてもよい。他の実施例で、指示ジオメトリ141は、コンピュータ・モニタ105上に生成される線または1つもしくは複数の文字でありえる。更に別の実施例で、指示ジオメトリ141は、省略されてもよい。

【0015】ファイル内容プレビュー・ウィンドウ140の形式は、プレビューされるファイル134のタイプによって異なる。メタデータ145は、テキスト・メタデータ147、グラフィック・メタデータ148および/またはカラー合成のような他のタイプのメタデータ145を含むことができる。操作者が、jpgファイル、すなわちグラフィック・メタデータ148をプレビューすることを選ぶ場合、ファイル内容プレビュー・ウィンドウ140は、ファイル134に関連する画像のサムネイルおよび他の省略されたメタデータ145を表示することができる。

【0016】図2は、図1に示されるようにコンピュー

タ・モニタ105上にファイル内容プレビュー・ウィンドウ140を生成し表示するソフトウェア・コンピュータ・プログラム250の典型的な実施例のフローチャートである。ソフトウェア・コンピュータ・プログラム250は、ファイル134に関連するメタデータ145を取り出し、モニタ・ウィンドウ110上にそのメタデータ145を表示し、モニタ・ウィンドウ110からメタデータ145を除去する。ブロック255は、ソフトウェア・コンピュータ・プログラム250へのエントリ・ブロックであり、メタデータ145を表示するためのコマンドを受け取る。ブロック255は、制御をブロック260に移す。

【0017】ブロック260は、ファイル134自体または関連するファイルである第2ファイル136から、メタデータ145を取り出す。ブロック260は、制御をブロック265に移す。

【0018】ブロック265は、テキスト・メタデータ147、グラフィック・メタデータ148および/または他のタイプのメタデータ145で構成されるメタデータ145を表示するための準備をする。ブロック265は、制御をブロック270へ移す。

【0019】ブロック270は、モニタ・ウィンドウ110上にメタデータ145を表示する。ブロック270は、制御をブロック275へ移す。

【0020】ブロック275は、モニタ・ウィンドウ110からメタデータを除去するためのコマンドを受け取る。ブロック275は、制御をブロック280へ移す。

【0021】ブロック280は、モニタ・ウィンドウ110からメタデータ145を除去する。

【0022】ここに記述した好ましい実施例で、ファイル内容プレビュー・ウィンドウ140は、アプリケーションを起動せずにファイルの内容をプレビューする自動的かつほとんど瞬時の方法を提供する。この発明の特定の実施例が、記述され図示されたが、この発明は、上述したような特定の形式に限定されるものではない。

【0023】本発明は例として次の実施態様を含む。

【0024】(1) コンピュータ・モニタ上の表示ウィンドウであって、該表示ウィンドウ内に表示されるメタデータを含み、該メタデータは、ファイルを記述し、該表示ウィンドウは、それが記述するファイルを示すように配置される、表示ウィンドウ。

【0025】(2) 上記メタデータは、上記ファイルから取得される、上記(1)に記載の表示ウィンドウ。

【0026】(3) 上記メタデータは、テキスト・メタデータまたはグラフィック・メタデータである、上記(2)に記載の表示ウィンドウ。

【0027】(4) 上記メタデータは、上記ファイルから生成される、上記(1)に記載の表示ウィンドウ。

【0028】(5) 上記メタデータは、テキスト・メタデータまたはグラフィック・メタデータである、上記(4)に記載の表示ウィンドウ。

【0029】(6) 上記メタデータは、第2ファイルから取得される、上記(1)に記載の表示ウィンドウ。

【0030】(7) 上記メタデータは、テキスト・メタデータまたはグラフィック・メタデータである、上記(6)に記載の表示ウィンドウ。

【0031】(8) 上記メタデータは、第2ファイルから生成される、上記(1)に記載の表示ウィンドウ。

【0032】(9) 上記メタデータは、テキスト・メタデータまたはグラフィック・メタデータである、上記(8)に記載の表示ウィンドウ。

【0033】(10) 表示ウィンドウを表示する方法であって、ファイルを記述するメタデータを表示するための命令を受け取るステップと、上記メタデータを取り出すステップと、コンピュータ・モニタ上に上記メタデータを表示するステップと、を含み、上記表示ウィンドウは、それが記述する上記ファイルを示すように配置される、表示ウィンドウを表示する方法。

【0034】(11) 上記メタデータは、上記ファイルから取得される、上記(10)に記載の方法。

【0035】(12) 上記メタデータは、テキスト・メタデータまたはグラフィック・メタデータである、上記(11)に記載の方法。

【0036】(13) 上記メタデータは、上記ファイルから生成される、上記(10)に記載の方法。

【0037】(14) 上記メタデータは、テキスト・メタデータまたはグラフィック・メタデータである、上記(13)に記載の方法。

【0038】(15) 上記メタデータは、第2ファイルから取得される、上記(10)に記載の方法。

【0039】(16) 上記メタデータは、テキスト・メタデータまたはグラフィック・メタデータである、上記(15)に記載の方法。

【0040】(17) 上記メタデータは、第2ファイルから生成される、上記(10)に記載の方法。

【0041】(18) 上記メタデータは、テキスト・メタデータまたはグラフィック・メタデータである、上記(17)に記載の方法。

【0042】(19) コンピュータによって実行可能な命令のプログラムを具体化して、表示ウィンドウを表示するステップを実施する、コンピュータによって読み取り可能なプログラム記憶媒体であって、上記ステップは、ファイルを記述するメタデータを表示するための命令を受け取るステップと、上記メタデータを取り出すステップと、コンピュータ・モニタ上に上記メタデータを表示するステップと、を含み、上記表示ウィンドウは、それが記述するファイルを示すように配置される、プログラム記憶媒体。

【0043】(20) 上記メタデータは、上記ファイルから取得される、上記(19)に記載のプログラム記憶媒体。

【0044】(21) 上記メタデータは、テキスト・メタデータまたはグラフィック・メタデータである、上記(20)に記載の方法。

【0045】(22) 上記メタデータは、上記ファイルから生成される、上記(19)に記載のプログラム記憶媒体。

【0046】(23) 上記メタデータは、テキスト・メタデータまたはグラフィック・メタデータである、上記(22)に記載のプログラム記憶媒体。

【0047】(24) 上記メタデータは、第2ファイルから取得される、上記(19)に記載のプログラム記憶媒体。

【0048】(25) 上記メタデータは、テキスト・メタデータまたはグラフィック・メタデータである、上記(24)に記載のプログラム記憶媒体。

【0049】(26) 上記メタデータは、第2ファイルから生成される、上記(19)に記載のプログラム記憶媒体。

【0050】(27) 上記メタデータは、テキスト・メタデータまたはグラフィック・メタデータである、上記(26)に記載のプログラム記憶媒体。

【0051】

【発明の効果】本発明によれば、ファイル名に依存したり、アプリケーションでファイルを実際に開くことなく、ファイルの内容または用途を確かめることができる。

【図面の簡単な説明】

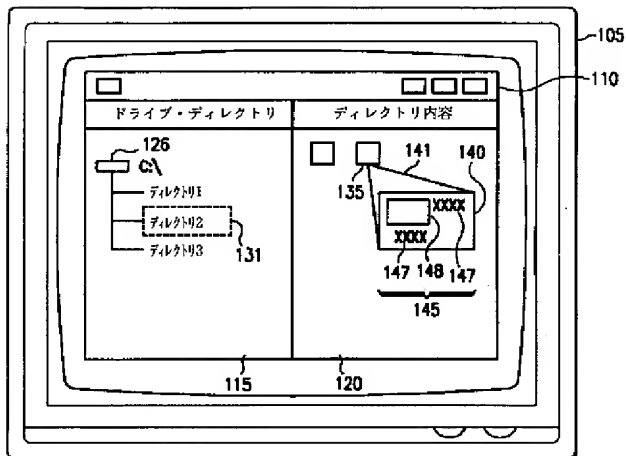
【図1】この発明の多様な実施例に記述されるコンピュータ・モニタ画面に表示される内容プレビュー・ウィンドウの概略図。

【図2】メタデータを取り出し、表示し、コンピュータ・モニタのディスプレイから除去するコンピュータ・ソフトウェア・プログラムを示すブロック図。

【符号の説明】

105	コンピュータ・モニタ
110	モニタ・ウィンドウ
120	ディレクトリ内容ウィンドウ
135	ファイル・アイコン
140	ファイル内容プレビュー・ウィンドウ
145	メタデータ
147	テキスト・メタデータ
148	グラフィック・メタデータ

【図1】



【図2】

